



〒975-0031  
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
 TEL:(0244)26-1315  
 FAX(0244)26-1318  
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和 5 年度 地域学校協働本部事業  
 地域連携担当教職員等研修会

- 研修テーマ：コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について
- 日 時：令和 5 年 5 月 2 9 日（月）1 3：3 0～1 6：1 5
- 会 場：南相馬市鹿島農村環境改善センター（万葉ふれあいセンター）・大会議室
- 参加人数：3 2 名（教職員 1 3、行政職員 7、地域コーディネーター 3、N P O 9）

【テーマ設定の理由及び研修のねらい】  
 コミュニティ・スクールの導入がまだまだ少ない相双域内に対して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についての講話や事例発表、研究協議等を通し、地域連携担当教職員等の資質向上を図る

- 1 開 会
  - (1) 開会の言葉
  - (2) 主催者あいさつ（総務次長兼総務社会教育課長 滝本 裕彦）
  - (3) 諸連絡
- 2 講 話
 

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について」  
 （文部科学省 総合教育政策局 CSマイスター 安齋 宏之 氏）

  - ・ これからも変化する社会と予測困難な時代において、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動がいかに有効なツールなのかを実践例を踏まえて説明していただいた。社会に開かれた教育課程を実現していくために「価値ある教育目標」「カリキュラム・マネジメント」「アクティブ・ラーニング」というポイントを示していただいた。CSを導入していない自治体でもその必要性を感じることができた。
- 3 事例発表
 

「南相馬市学校協働本部事業で地域はどのように変わったのか」  
 （南相馬市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 牛来 学 氏）

  - ・ 地域学校協働活動の仕組みをイメージできる実践事例であった。「体験活動」「放課後子ども教室」「学習支援」といった3つの異なった内容の導入事例を通しての成果と課題を具体的に示してくださったので、今後参加者が、自分の学校や自治体で推進していくときの参考となった。双方向の「連携・協働」というキーワードが相双地区における地域学校協働活動の活性化につながっていくことが期待できた。
- 4 情報交換
 

小グループによる「地域学校協働活動推進上の成果や課題」「未来の相双地区の姿」について情報交換

  - ・ 意図的に所属が異なるように小グループを編成したことで、それぞれが抱える課題についての情報交換と積極的な意見が交わされた。
- 5 閉 会 (1) 諸連絡（アンケート記入等） (2) 閉会の言葉



## 研修会の感想

- ・ コミュニティ・スクールの在り方によっては、学校の教育課程の解決につながる活動ができることを学び、その可能性の大きさを感じました。具体的な事例等も多く知ることができ、どのようにして推進していくと良いのかイメージを持つことができました。学校での推進委員の一人として役立てていきたいと思えます。(男性30代教職員)
- ・ わからないことが多く、自分でやらねばならないことは何なのかなど悩んでいましたが、地域の方とどのようにかかわり、子どもたちを育てていくべきなのかがよくわかり安心することができました。ありがとうございました。(男性40代教職員)
- ・ 学校の管理職に昨年度から就いております。校務運営でいっぱいになっているなかで、頭のすみには開かれた学校づくりを考えています。しかし、思うように実践できない状況です。ただ、今日のお話を聞いて学校だけでなく地域の資源を使うことや、子どもを育てる思いや環境など活かすことを学ぶことができました。ありがとうございました。(男性50代教職員)
- ・ 実践事例を聞いたり、CSの話を聞いたりするとその良さを感じるのだが、いざ自分が担当教員として何ができるのか、何から始めれば良いのかが、まだ分かっていない。(男性50代教職員)
- ・ 同じ内容で、教職員の方に話をしてほしい(40代放課後子ども教室)
- ・ 必要性やその効果についてしっかりと理解することができました。自校、町の今後を活かしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。(男性50代教職員)
- ・ とてもためになる研修でした。お二人の先生方、これからの学校教育に活かしていきたいと思えます。本日はありがとうございました。(男性50代教職員)
- ・ 学校と保護者、地域の方々の目標の共有の大切さを改めて実感しました。じばキャリア(じいじばあばキャリア)今現在地域の方々に協力をいただいているので引き続きその関係性を大切にして取り組んでいきたいと思えます。お世話になりました。(女性30代行政)
- ・ 参考になりました。(女性60代地域支援コーディネーター)
- ・ とてもよかったです。(女性60代NPO)
- ・ 安齋先生のお話の中で、CSと地域学校協働活動の主体が「教育委員会」であること、そして公民館は単なるカルチャーの場ではなく「学びを活かせる場」という言葉が非常に心に残りました。自分達行政もこの地域学校協働活動事業を長く続けていけるよう努めていきたいと思えます。(女性40代行政)
- ・ 昨年度、この研修会をきっかけに市教委の方とつながることができ、今日も新たなつながりができました。来年度もぜひ参加したいと思えます。(女性30代教職員)
- ・ 情報交換会、もう少し良かった～良かったです。(女性50代その他)
- ・ 講話は大変有意義であった。CSと地域学校協働活動関係のモヤモヤがなくなり、取り組むことが見えた。行政(教育委員会)は、どこまで関わらなければならないのか、そこがまだはっきり見えてこない。地域学校協働本部をつくったらそままでいいのか、推進委員会などを「主」として運営していくのか事務上のことは誰が行うのか、予算執行は?など、まだ自分自身の中で明確に見えてきていない。地域学校協働活動推進者の選考は、どのようにやっているのだろうか?(男性50代行政)
- ・ 地域連携とは、いったいどのようなものなのか、分からなかったけれど、今日のお話を聞いて、少し知ることができました。今後の取り組み等に活かしていきたいと思えます。本日は、ありがとうございました。(男性20代教職員)
- ・ 自分自身が地域連携コーディネーターとしての役割が分からない部分がありましたが、講話などを通して、やるべきことが見えてきたように思いました。今後、学校で活かしていきたいと思えます。(男性50代教職員)
- ・ ありがとうございました。もっといろいろな分野の人の参加があると良いと思えます。(男性60代NPO)
- ・ 大変勉強させていただきました。「主体的、対話的で深い学び」を地域みんなで活動していきたいと思えました。ありがとうございました。(女性60代NPO)
- ・ 大変参考になりました。今後の取り組みにぜひ活かしていきたいと思えます。(男性50代教職員)
- ・ 安齋先生のお話は時間が足りないと思えました。牛来先生のお話は時間が丁度よかった。こういう形の子どものかかわり教育、40年前からあったらよかったね。(女性60代NPO)
- ・ 事例を伺っていると新しいことではなく、かつて各地域で行われていたようなことがほとんど。必要なことは認識していますが、以前できていたことがどうしてできなくなりといったことも考えていかないとやはりトップダウンの策で負担感が先にたってしまうように思えます。(男性60代教職員)
- ・ 地域連携担当教職員として、何ができるのか悩むところが多いのが正直な感想です。地域人材の活用や協働活動のことを考える機会になって、この研修会に参加できてよかったと思えました。本日はありがとうございました。(男性60代教職員)
- ・ 有意義な研修会でありました。今後の活動に活かせるよう勉強したいと考えております。牛来先生の実践を通じた講話も良かったです。(男性60代NPO)
- ・ 南相馬市では、統括コーディネーターが地域コーディネーターや担当教職員の他に居ることを知ることができました。地域ごとに運営委員会が少し“ちがう”特性が出て良いと思えました。

